

開催期間:

2012年1月31日から12月31日

一回目の送付の際は文字は黒で 2回目以降は修正部分を赤字にしてください

スタッフ:

23Members

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

支援者:

JCI 札幌メンバー143名

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

予算:

None

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

利益／損失:

None

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

誰の為に？

札幌市民 192 万人

目的:

- ・JCI札幌をトップグローバルネットワークにすること。
- ・JCI札幌メンバーが、まちを牽引するリーダーとなること。
- ・前向きなよりよい変化をもたらす力を市民に提供すること。
- ・能動的市民を増やすことにより、世界平和の実現に繋げること。

3 行程度 400 字以内

簡潔な短い文章にして下さい。やっつけ仕事禁止

概要:

彼は、JCI札幌メンバーと以下の事業を開催した。

- ・国際アカデミーを主管することにより、JCI札幌メンバーのポジティブチェンジを促した。
- ・国際交流を通じて市民と地域に異なる文化、異なる価値観に理解するだけでなく、行動する機会を提供する。
- ・JCI札幌メンバーに対し、JC運動、JAYCEEの本来あるべき姿について学び、後進の育成に努める。
- ・JCI札幌メンバーがリーダーとしての資質を身に付ける事により、地域社会の発展に貢献する。
- ・地域社会に対する市民の関心を高めることにより、市民の地域社会への主体的な参画を促す。

全部で 400 字以上

主語を忘れないこと、単語は 7 つ以下で 1 文とすること

結果：

理事長林将告は、国際アカデミー主管LOMのリーダーとして行動。JCI札幌メンバーに、JCIと関わる機会やトレーニングの場を提供した。JCI札幌をトップグローバルネットワークへ導いた。率先した行動の結果、Local Chapterメンバーの多くがポジティブチェンジした。次の年1名がJCIに出向、JCIジャパンに37名が出向している。彼は、市民に国際活動の機会提供を大変積極的に行う事により、以下の結果を得た。・307名の通訳ボランティアに参加するチャンスを創造。これにより、札幌市民に異文化理解の相手にBestなJCI加盟の各NOMの次年度President達と交流する機会を提供した。・65か国の参加者のホームステイプログラムで、市民が異文化コミュニケーション・トレーニング(実践力養成、疑似体験学習)した。このことにより、札幌市民が恒久的世界平和実現に必要なTrue ActiveCitizenになる機会を提供した。・札幌に住む小中学生561名でMDGsについて学び、話し合う機会を提供した。彼はLocal ChapterのMembership Development開発の為に積極的な行動を成功させた。Monthly meetingにはJCの深く理解し、積極的な行動しているJCIセネター、JCI JAPANシニアメンバーを札幌に招いた。JCI Past PresidentのKentaro Harada,JCI Academy,JCI Awardのに詳しい、Dr,Shuichiro Sato 招聘しセミナー開催。結果、JCI札幌のメンバーがJC運動の意味と目標、JAYCEEの本来あるべき姿を学ぶことに成功した。結果Local Memberの参加率が向上した。彼は、積極的に会員拡大を主導することにより、33名の新規会員を獲得した。理事長林将告は、NotingButNetsキャンペーンを精力的に訴えかけた。結果、JCI札幌では自動販売機を18台設置し、\$722を募金した。これは地域全体のLOMで最大の設置数。北海道が地区別1位の設置台数を達成したことへ大きく貢献している。理事長林将告は、JCI札幌の基金より札幌のNPO団体へ活動資金の応募を募った。結果、82団体にJCI札幌の活動について認知してもらい、NPO団体と交流する機会を得た。また、6つのNPO団体に\$54,348の援助を行うことで、アクティブシチズン創出と行動の支援に成功した。

上記の結果の想定外の結果を書いて下さい

上記の結果の確認方法を書いて下さい

検証結果を簡潔に書いて下さい

主語を忘れないこと、単語は7つ以下で1文とすること

行動:

1/11 Local Chapter New year party開催
1/19～22 JCI Japan New year convention 参加
1/31 通常総会
2/4 Dr,Shuichiro Sato セミナー
2/21 Monthly meeting (会員拡大・交流)
3/6 Mr.Kentaro Harada セミナー
5/2～5/5 アメリカ地域会議参加
6/5 Monthly meeting(国際都市となる)
6/7～6/10 ASPAC 参加
6/11 Monthly meeting(創立記念)
6/13～6/16 ヨーロッパ地域会議参加
7/5～7/12 国際アカデミー
7/21～22 サマーコンファレンス参加
8/25 Monthly meeting(コミュニティ構築)
9/7～9/9 地区大会参加
9/19 Monthly meeting(未来リーダー育成)
10/11～10/14 JCI Japan National Convention 参加
10/28 Monthly meeting(frontier spirit)
11/13 Monthly meeting(新入会員歓迎)
11/18～11/23 World Congress 参加
11/27 Monthly meeting(JCI札幌内の褒章)
12/4 Monthly meeting(卒業式)

全部で 200 字以上
2000 字以内程度

読めば委員会の事業前から
事業後までの動きが
だいたい、大まかに解るようにして下さい。

考察や推奨

①JCI 札幌メンバーがポジティブチェンジし、市民が異文化を理解するには外国人と直接交流することが大切である。JCI 加盟の各 NOM の次年度 President 達と交流できた国際アカデミーの札幌開催は大きな経験であった。②多くの小中学生を含む市民と国際交流を果たした。札幌市の人口比としては十分な数とは言えない。今後より多くの札幌市民へグローバルな人材を育成するよう活動を引き継ぐ必要がある。③74名(45%)が入会3年未満という未熟なメンバーが多いLOMの中で、林将告の強いリーダーシップと、経験のある Mr.Kentaro Harada、Dr.Shuichiro Sato を招いた事はメンバーがポジティブチェンジするための最高の機会提供となった。④NotingButNets キャンペーンは継続活動が必要であることを引き続きメンバーに訴えなければならない。⑤援助を行ったNPO団体については、単に支援をするわけではなく、次年度の事業でJCI札幌メンバーと市民に活動報告をしてもらう。

①デリゲイツと交流した中学生のアンケートの結果より
98%のMGDSを知らない中学生が活動を知り、理解した。
81%の中学生が英語力の不足を感じ、60%の中学生が海外へ行きたくなった。
これにより、直接の国際交流は意識向上に大きく役立つといえる。

②札幌市民192万人に対し、直接交流できた札幌市民は1000人に満たない。

③セミナーを受けた入会3年度未満のメンバーのうち、翌年5名がリーダーとなり、27名がスタッフとして活動している。
また、18名が日本へ出向し、うち4名がスタッフとして活動の幅を拡げている。

④自動販売機の設置は当年度より始まったものであり、今後拡大していくことで支援を大きくすることができる。

⑤報告をしてもらう事でよりJCI札幌の理念を理解してもらいながら主体的な活動を促す事ができる。報告は2013年10月を予定している。

	<p>国際アカデミーの開催により、各委員会の担当事業の開催に予想以上の負荷がかかり、年間事業計画の変更が生じた。 ただ、これにより各委員会の連携が密になり、札幌の魅力を海外へ伝える事ができた。 結果、JCI札幌メンバー全員が理事長林将告のリーダーシップのもと、市民の国際交流に貢献できた。</p>
	<p>本年は 61 年目という新たなスタートに相応しい 1 年となった。 JCI札幌は2000年世界会議以来、国際事業を主管する事となったこと。 そして国際アカデミーや様々な事業を通して、多くの機会をJCIメンバー、JCI札幌メンバー、市民に提供しました。 結果、恒久的世界平和の実現には相互理解を深めることが最も重要なファクターであることを実感しました。</p>
<p>全部で200字以上</p>	<p>・JCI世界会議台北大会において、彼はJCI日本2012年度井川直樹会頭よりゴールデンハンマーを贈呈された。 これはJCI日本2012年度国際グループが特別に企画していたものであり、 国際事業へのメンバーの参加を促し、民間外交の発展を目指したことを評価されたものである。 日本全国のLOMの中で最も優秀なポイントを獲得した証である。</p>
	<p>北海道知事 高橋はるみ JCI札幌の皆様におかれましては、情熱を持って取り組んで得た成果を生かし、今後とも、地域のリーダーとして、世界から高く評価される魅力ある北海道、そして札幌のまちづくりに大いに貢献していかれることをご期待申し上げます。</p> <p>札幌市長 上田文雄 国際アカデミーを誘致してから2年にわたり想像力と行動力を惜しみなく発揮し準備を行った結果、札幌の地に世界 65 か国から、国内参加者を含め総勢 130 名を超える方々をお招きし、札幌の魅力を国内外に強く発信されたことに対し、深く感謝の意を表します。また、札幌市と「さっぽろまちづくりパートナー協定」を締結後、ブルーアース基金によるNPOなどへの活動支援など、まちづくり活動にご協力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>ホームステイでデリゲイツを受け入れた Yuko Miyajima 未来のリーダーとなるデリゲイツとの異文化交流はとても刺激的なものでした。ホームステイ後、現在でも友情が続いています。この機会を提供してくれ</p>

た事を感謝いたします。

2012年1月13日／北海道新聞朝刊(約 1,120,000 部)にて「New Year Meteting」に関して取材・掲載された。
2012年5月5日／毎日新聞朝刊(北海道版・約 148,000 部)にて「Nothing But Nets in Sapporo」に関して取材・掲載された。
2012年7月7日／読賣新聞朝刊(北海道版・約 236,000 部)にて「25th JCI academy in Sapporo」に関して取材・掲載された。